



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 東都水産株式会社

コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関本 吉成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 江原 恒

TEL 03-3541-5468

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	96,725	△4.0	345	△50.3	397	△50.4	333	△50.9
24年3月期第3四半期	100,805	△5.0	695	32.7	801	34.7	678	93.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 484百万円 (63.9%) 24年3月期第3四半期 295百万円 (239.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	8.38	—
24年3月期第3四半期	17.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	28,287	9,542	33.7	239.76
24年3月期	28,081	9,177	32.7	230.57

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,542百万円 24年3月期 9,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	△4.4	280	△60.9	360	△54.4	290	10.9	7.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	40,260,000 株	24年3月期	40,260,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	457,597 株	24年3月期	453,718 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	39,804,287 株	24年3月期3Q	39,807,281 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成25年3月期の個別業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	89,500	△ 3.2	△ 385	-	△ 185	-	△ 4	65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要など政府の政策により回復の兆しが見られましたが、欧州債務問題や世界経済の減速、依然として厳しい雇用環境など先行き不透明な状況で推移いたしました。

水産物卸売市場業界におきましては、消費者の根強い低価格・節約志向、市場外流通の増加、市場間競争の激化に加え、放射能汚染による出荷制限など厳しい事業環境が続いております。

このような状況のなか当社グループは、消費者の皆様にご納得いただける安全・安心でおいしい商品をご提供できますよう、集荷・販売の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、当社グループの主たる事業である水産物卸売事業が昨年実績を下回り、前年同期と比べ4.0%減少の96,725百万円となりました。利益面では、回収に懸念のある債権に対し貸倒引当金を追加計上したため、人件費及び販売諸経費等の削減に努めましたものの、営業利益は前年同期と比べ50.3%減少の345百万円、経常利益は前年同期と比べ50.4%減少の397百万円となりました。

特別利益として、環状第2号線整備に係る東京都からの物件移転補償である「受取補償金」195百万円、東京電力㈱の福島原子力発電所における事故に伴う損害賠償金である「受取損害賠償金」67百万円を計上しました結果、四半期純利益は前年同期と比べ50.9%減少の333百万円となりました。

セグメントの業績概況は次の通りであります。

① 水産物卸売事業

水産物卸売事業につきましては、売上単価、取扱数量ともに前年同期を下回り、売上高は前年同期と比べ4.5%減少の89,312百万円となりました。売上総利益率の低下に加え、回収に懸念のある債権に対し貸倒引当金を追加計上したため、人件費等の削減に努めましたものの、営業損失551百万円（前年同期営業利益241百万円）となりました。

② 冷蔵倉庫及びその関連事業

冷蔵倉庫及びその関連事業につきましては、売上高は前年同期と比べ0.9%増加の6,915百万円となりました。引き続き利益率重視の業績管理を行ったことにより売上総利益率が向上し、さらに人件費及び販売諸経費の削減に努めました結果、営業利益は前年同期と比べ136.8%増加の667百万円となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、社有社宅の賃貸物件への転用や賃貸物件の稼働率向上により、売上高は前年同期と比べ4.9%増加の497百万円となりました。さらに賃貸原価の削減に努めました結果、営業利益は前年同期と比べ21.7%増加の207百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ205百万円増加し、28,287百万円となりました。流動資産は21百万円増加し、19,962百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が2,973百万円増加したものの、商品及び製品が2,863百万円減少したことによるものです。固定資産は184百万円増加し、8,325百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ159百万円減少し、18,744百万円となりました。流動負債は288百万円増加し、13,502百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が813百万円増加したものの、短期借入金が521百万円減少したことによるものです。固定負債は447百万円減少し、5,242百万円となりました。主な要因は、長期借入金が479百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ364百万円増加し、9,542百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.7%から33.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間までの業績の進捗状況等を勘案し、平成25年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日別途発表の「業績予想の修正及び貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、平成24年8月6日に発表いたしました通期の業績予想との差異は以下の通りであります。

(連結)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	129,000	720	770	650	16.33
今回修正予想 (B)	125,000	280	360	290	7.29
増減額 (B-A)	△ 4,000	△ 440	△ 410	△ 360	—
増減率 (%)	△ 3.1	△ 61.1	△ 53.2	△ 55.4	—
前期実績	130,782	715	788	261	6.57

(個別)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	92,500	130	270	6.78
今回修正予想 (B)	89,500	△ 385	△ 185	△ 4.65
増減額 (B-A)	△ 3,000	△ 515	△ 455	—
増減率 (%)	△ 3.2	—	—	—
前期実績	92,449	372	△ 72	△ 1.82

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,472	4,893
受取手形及び売掛金	8,070	11,043
商品及び製品	7,463	4,599
仕掛品	44	42
原材料及び貯蔵品	240	266
その他	764	256
貸倒引当金	△1,114	△1,141
流動資産合計	19,940	19,962
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,578	3,571
その他(純額)	2,659	2,578
有形固定資産合計	6,237	6,150
無形固定資産	518	537
投資その他の資産		
破産更生債権等	2,643	3,112
その他	1,230	1,478
貸倒引当金	△2,489	△2,953
投資その他の資産合計	1,384	1,637
固定資産合計	8,141	8,325
資産合計	28,081	28,287
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,419	5,233
短期借入金	7,612	7,090
未払法人税等	121	160
賞与引当金	64	14
その他	995	1,003
流動負債合計	13,214	13,502
固定負債		
長期借入金	2,646	2,166
退職給付引当金	1,569	1,555
資産除去債務	83	84
その他	1,389	1,434
固定負債合計	5,689	5,242
負債合計	18,903	18,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,017	1,017
利益剰余金	5,907	6,121
自己株式	△60	△60
株主資本合計	9,240	9,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	81
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	329	329
為替換算調整勘定	△425	△322
その他の包括利益累計額合計	△62	89
純資産合計	9,177	9,542
負債純資産合計	28,081	28,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	100,805	96,725
売上原価	95,369	91,419
売上総利益	5,435	5,305
販売費及び一般管理費	4,740	4,959
営業利益	695	345
営業外収益		
受取利息	21	30
受取配当金	36	35
通貨スワップ評価益	—	20
為替差益	132	—
その他	40	70
営業外収益合計	230	156
営業外費用		
支払利息	64	65
和解金	—	20
固定資産除却損	27	13
通貨スワップ評価損	29	—
その他	3	5
営業外費用合計	125	105
経常利益	801	397
特別利益		
受取補償金	—	195
受取損害賠償金	—	67
関係会社整理損失引当金戻入額	67	—
特別利益合計	67	263
税金等調整前四半期純利益	868	660
法人税、住民税及び事業税	193	314
法人税等調整額	△3	12
法人税等合計	190	326
少数株主損益調整前四半期純利益	678	333
四半期純利益	678	333

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	678	333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	47
繰延ヘッジ損益	△1	0
土地再評価差額金	△74	—
為替換算調整勘定	△241	103
その他の包括利益合計	△383	151
四半期包括利益	295	484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295	484
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	93,475	6,855	474	100,805	—	100,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	639	2,409	115	3,165	(3,165)	—
計	94,115	9,264	589	103,970	(3,165)	100,805
セグメント利益	241	281	170	694	1	695

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	89,312	6,915	497	96,725	—	96,725
セグメント間の内部売上高 又は振替高	588	1,805	82	2,475	(2,475)	—
計	89,901	8,720	579	99,200	(2,475)	96,725
セグメント利益又は損失(△)	△551	667	207	322	23	345

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額23百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。